

カメラをご利用になる前に	6-2
カメラ利用時のご注意	6-2
画像データの保存形式／保存場所	6-2
カメラモードと画像サイズについて	6-3
撮影画面の見かた	6-4
静止画／動画の撮影	6-6
静止画を撮影する（カメラモード）	6-6
動画を撮影する（ビデオカメラモード）	6-7
撮影時の機能	6-8
ピントを固定して撮影する （オートフォーカスロック）	6-8
動く被写体にピントと露出を合わせて撮影する（追尾AF）	6-8
ズーム機能を使用する	6-9
セルフタイマーを使用する	6-9
場面に適した撮影モードに切り替える	6-10
ピントを合わせたい対象物を特定する （フォーカスモード）	6-11
撮影した静止画／動画の確認	6-12

カメラをご利用になる前に

本機は約5.1メガピクセルCMOSカメラ（オートフォーカス機能付き）を搭載し、静止画や動画の撮影ができます。

カメラ利用時のご注意

- レンズが指紋や油脂などで汚れているとピントが合わなくなります。汚れたら柔らかい布できれいに拭いてください。
- 本機が動かないようにしっかり持って撮影してください。動く画像が乱れる原因となります。薄暗い場所では特に乱れやすいのでご注意ください。
- 本機を暖かい場所に長時間置いていたあとで、撮影したり画像を保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。
- カメラ起動中は着信／充電ランプが点滅します。点滅は消せません。

カメラ撮影時の撮影音について

マナーモードなどの設定にかかわらず、撮影時は音（シャッター音やセルフタイマー音）が鳴ります。音量は変更できません。

- シャッター音は変更できます。（☞P.17-14）

お知らせ

- 電池残量が不足していると、カメラは起動できません。
- カメラ起動中に着信やアラーム動作があったり、電池残量が不足したりするとカメラは終了します。撮影したデータを保存する前に終了した場合でもデータは保持されています。また、動画の場合はカメラ終了まで撮影していたデータが保持されています。再びカメラが起動したときにデータを保存してください。
- 起動後に約1分間何も操作しないとカメラは自動的に終了します。

画像データの保存形式／保存場所

撮影した静止画／動画は本体のデータフォルダに保存されます。

撮影画像	保存形式	保存場所
静止画	JPEG (.jpg)	ピクチャーフォルダのカメラフォルダ
動画	MPEG-4 (.3gp、.mp4) / ASF (.asf)	ムービーフォルダのカメラフォルダ

- microSDカードに保存する場合は、保存先設定を切り替えてください。（☞P.17-14）
- メモリ容量を確認するには（☞P.17-14）

お知らせ

- 動画容量設定（☞P.17-13）を**長時間**に設定すると、自動的にmicroSDカードに保存されます。

カメラモードと画像サイズについて

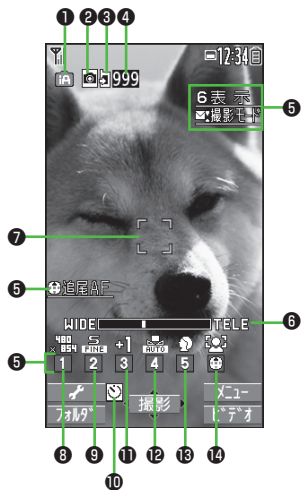
カメラモード	撮影画像	アイコン	画像サイズ		
カメラ	静止画		5M		
			3.7Mワイド		
			3M		
			2Mワイド		
			2M		
			WVGA		
			VGA		
			待受		
	静止画／連写		VGA		
			QVGA		
			QCIF		
			Sub-QCIF		
		ビデオカメラ	動画		VGA
					HVGAワイド
	QVGA				
	QCIF				
	Sub-QCIF				

撮影画面の見かた

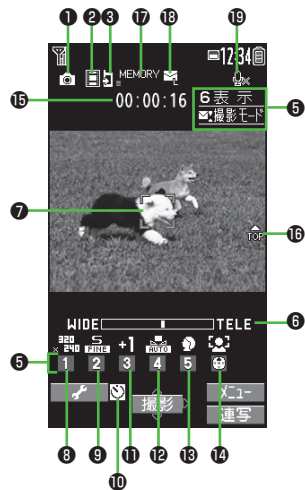
●画面は説明用のイメージのため、実際の画面とは異なります。

■ カメラ

6 カメラ



■ ビデオカメラ



項目	説明
① 撮影モード (👉P.6-10)	インテリジェントオート 通常撮影 シーン Myオリジナル (シーン/Myオリジナルの場合は、設定によってアイコンが変わります。)
② カメラモード切替	カメラ ビデオカメラ / / 連写モード (オート/マニュアル/オートブラケット)
③ 保存先	本体 microSD
④ 撮影可能枚数	残りの撮影可能枚数を表示
⑤ ボタンガイダンス	ボタン操作を表示
⑥ ズームバー	ズームレベルを表示 (👉P.6-9)
⑦ フォーカスガイド	オートフォーカスガイド 追尾AFガイド
⑧ 記録画素数	画像サイズを表示 (👉P.6-3)
⑨ クオリティ	スタンダード ファイン スーパーファイン
⑩ セルフタイマー	
⑪ 露出補正	撮影画面の明るさを調節 (レベル-3~+3)
⑫ ホワイトバランス	オート 晴天 曇天 電球 蛍光灯
⑬ シーン	人物 スポーツ 料理 風景 夜景 逆光 文字 雪 夕焼け ペット
⑭ フォーカスモード (👉P.6-11)	顔認識 オート マクロ 風景 追尾AF
⑮ 録画可能時間	録画可能時間の目安
⑯ 天地アイコン	撮影時の上下方向を表示
⑰ 使用メモリ量バー	メモリ使用状況の目安を表示 (メモリがいっぱいのときは赤で表示)
⑱ 動画容量	メールモード(小) メールモード(大) 長時間
⑲ 撮影種別設定	映像のみを録画

ボタンガイダンスについて

- 次の操作でそれぞれの設定の切り替えができます。
 - ・ ⑤で表示されている数字やマークのボタン (→👉で項目を選択)
 - ・ [] →👉で設定を選択→👉で項目を選択

静止画／動画の撮影

静止画を撮影する（カメラモード）

インテリジェントオートについて

静止画撮影時に撮影シーンを自動で認識し、最適な設定でおまかせ撮影ができます。シーンを判別すると、アイコンがアニメーション表示されます（例：顔認識）。

- 顔認識について（☞P.6-11）
- インテリジェントオート以外の撮影モードを選択しても（☞P.6-10）、次回カメラを起動すると、インテリジェントオートに戻ります。



静止画撮影画面が表示されます。

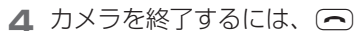


撮影するとシャッター音が鳴ります。

- 撮影をやり直すには：



- 撮影した静止画をすぐに確認するには：【フォルダ】→撮影画面に戻るには、



待受画面に戻ります。



静止画撮影画面

お知らせ

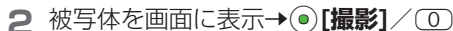
- メインメニューからカメラ▶カメラでも起動できます。
- 撮影画面でを押すたびに、ビデオカメラ、連写モード、カメラの順にカメラモードを切り替えられます。

連写撮影する

最大20枚の静止画を連続して撮影できます。



が表示されます。（アイコンは連写モードによって異なります。）



- 撮影を途中で止めるには：



選択した画像だけ保存する場合

画像を選択→【保存】

- 画像を選択するとチェックが付き、もう一度選択するとチェックが外れます。
- 複数の画像にチェックをつけることができます。
- 画像を拡大表示するには：画像を選択して【詳細】→元の画面に戻るには（拡大表示のままで残りの画像を表示できます。）

■ 連写撮影の設定を変更する

- > P.6-6手順1のあと、[メニュー]→連写設定→項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
連写モード設定	> 項目を選択 ・ オート ：複数の静止画を自動で撮影します。 ・ マニュアル ：1枚ずつ手で撮影します。 ・ オートブラケット ：1枚ずつ明るさや色調を変えて9枚の静止画を自動で撮影します。
撮影間隔	連写モード設定が オート 時の撮影間隔を設定します。 > 撮影間隔を選択
撮影枚数*	連写モード設定が オート / マニュアル 時の撮影枚数を設定します。 > 撮影枚数を入力

- ※ 撮影枚数は画像サイズによって以下のように変わります。
・ VGA(480×640)：4枚（撮影枚数の変更はできません。）
・ QVGA(240×320)：5～10枚
・ QCIF(144×176)：5～20枚
・ Sub-QCIF(96×128)：5～20枚

動画を撮影する（ビデオカメラモード）

1 →[ビデオ]

動画撮影画面が表示されます。

2 被写体を画面に表示→

[撮影] /

撮影開始音が鳴り、「●REC」が表示されます。

3 撮影を終了するには、

[終了] /

撮影停止音が鳴ります。

- 記録可能時間を超えると、撮影は自動的に終了します。
- 撮影した動画を再生するには：[再生]
- 撮影をやり直すには：

4 [保存]

5 ビデオカメラを終了するには、

待受画面に戻ります。



動画撮影画面

お知らせ

- **メインメニューからカメラ▶ビデオカメラ**でも起動できます。
- 撮影画面でを押すたびに、連写モード、カメラ、ビデオカメラの順にカメラモードを切り替えられます。

撮影時の機能

ピントを固定して撮影する (オートフォーカスロック)

画面中央の被写体（「顔認識」の場合は人物の顔）にピントを合わせて固定します。


固定したあとに構図を変えることもできます。

6
カメラ

1 撮影画面で、 /

ピントが合うと「ピピッ」と鳴り、フォーカスガイドが緑色に変わります。

●ピントが合わなかった場合はフォーカスガイドが赤色になります。

●固定したピントを解除するには：

2 画面を見ながら構図を決める

3 各カメラモードに従って撮影する

動く被写体にピントと露出を合わせて撮影する (追尾AF)

被写体に追尾AFガイドを合わせると、被写体の動きを追いかけ、ピントと露出を合わせ続ける追尾状態になります。追尾状態で被写体の位置にピントと露出を固定して撮影できます。


お知らせ

- 被写体が撮影画面の外に出たときなど、被写体を追尾できなくなった場合は、追尾状態が解除されます。
- 撮影状況によっては、被写体を追尾できない場合や他の被写体を追尾する場合があります。

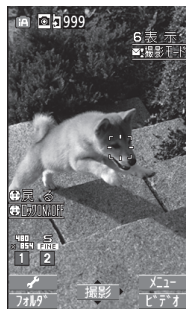
1 静止画撮影画面で、 追尾AFガイドが表示されます。

2 被写体に追尾AFガイドを合わせて、


被写体を認識すると追尾AFガイドが黄色に変わって追尾状態になります。




●追尾状態を解除するには：



3 撮影するには、 /



■ インテリジェントオート以外の撮影モードで追尾AF撮影をする

> フォーカスモード（ P.6-11）を追尾AFにする→被写体に追

尾AFガイドを合わせて、 →  / 

●追尾状態を解除するには： / 

ズーム機能を使用する

● 広角／望遠にすると画質は多少変化することがあります。

1 撮影画面で、

■ 各画像サイズにおけるズームの最大倍率

カメラモード	撮影画像	画像サイズ	ズーム段階	最大倍率	
カメラ	静止画	5M	1段階	約1.0倍	
		3.7Mワイド	1段階	約1.0倍	
		3M	4段階	約1.3倍	
		2Mワイド	4段階	約1.4倍	
		2M	7段階	約1.6倍	
		WVGA	6段階	約1.5倍	
		VGA	21段階	約2.0倍	
		待受	21段階	約3.0倍	
		QVGA	21段階	約4.0倍	
		QCIF	21段階	約6.8倍	
		Sub-QCIF	21段階	約10.1倍	
		連写	VGA	21段階	約2.0倍
			QVGA	21段階	約4.0倍
			QCIF	21段階	約6.8倍
Sub-QCIF	21段階		約10.1倍		
ビデオカメラ	動画	VGA	21段階	約2.0倍	
		HVGAワイド	21段階	約2.0倍	
		QVGA	21段階	約4.0倍	
		QCIF	21段階	約6.8倍	
		Sub-QCIF	21段階	約10.1倍	



セルフタイマーを使用する

1 撮影画面で、[メニュー]→セルフタイマー

2 ON→作動時間（秒）を入力

3 [撮影]

セルフタイマー音が鳴り、設定している作動時間経過後に撮影が始まります。

● タイマー動作中に[中止]またはを押すと撮影画面に戻ります。タイマーは解除されません。

お知らせ

- 連写モード設定が**マニュアル**の場合はセルフタイマーで撮影できません。
- 撮影が終了すると、セルフタイマーは**OFF**になります。

場面に適した撮影モードに切り替える

《お買い上げ時》

カメラ：インテリジェントオート
連写モード／ビデオカメラ：通常撮影

1 撮影画面で、[メニュー]→**撮影モード**

2 項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
インテリジェントオート*	撮影シーンを自動で認識し、最適な設定でおまかせ撮影ができます。シーンを判別すると、アイコンがアニメーション表示されます（例： 顔認識）。 ●オートフォーカスロックを行ったあとは撮影モードは切り替わりません。インテリジェントオートを利用するには、オートフォーカスロックを解除してください。
通常撮影	標準のモードで撮影します。
シーン	撮影する場面や環境を選択することで、画像に適した明るさや色調に調節します。 > 項目を選択
Myオリジナル*	Myオリジナル設定として登録した設定で撮影します。 > 設定を選択 ●Myオリジナル設定を登録するには（右記）

※ 静止画撮影時のみ

お知らせ

- [メニュー]（長押し）→で項目を選択して切り替えることができます。

Myオリジナル設定を登録する

お好みの撮影設定を、カメラ、連写モードでそれぞれ3件まで登録できます。

1 [メニュー]（長押し）→**Myオリジナル設定**

2 各項目の操作を行う（下記参照）

項目	操作・補足
設定を保存する	> 設定を選んで[保存]（→確認画面が表示された場合、 YES ）→タイトルを編集
保存した設定を呼び出す	> 設定を選択
保存した設定のタイトルを編集する	> 設定を選んで[編集]→タイトルを編集
保存した設定の詳細を確認する	> 設定を選んで[詳細]
保存した設定を削除する	> 設定を選んで[削除]→ YES

ピントを合わせたい対象物を特定する (フォーカスモード)


《お買い上げ時》
カメラ/ビデオカメラ：顔認識
連写モード：オート

撮影モードがインテリジェントオート以外の場合は、撮影シーンに合わせてフォーカスモードが選べます。

設定に応じて撮影前に自動的にピントを合わせます。

1 撮影画面で、[メニュー]→撮影設定→ フォーカスモード

2 項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
顔認識	人物の顔にピントを合わせます。
オート	自動的にピントを合わせます。
マクロ	近くの物にピントを合わせます。
風景	遠い風景にピントを合わせます。
追尾AF	被写体を自動で追尾し、ピントを合わせます。 ●追尾AFで撮影するには（  P.6-8）

●カメラモードによっては選択できないものもあります。

お知らせ

- 約10cm以上の距離でピントが合いません。
- フォーカス動作中はカメラ部から動作音が発生します。以下の場合はピントを自動的に合わせるため、フォーカス動作音が断続的に発生します。
 - ・フォーカスモードが**追尾AF**の場合
 - ・撮影モードが**インテリジェントオート**の場合

「顔認識」について

- 約2.5m以内の人物の顔を最大5人まで検出できます。
- 人物の顔を検出すると黄色のフォーカスガイドを表示します。
- 顔を複数検出した場合は、自動的に1人の顔にピントを合わせます。（ピントの合った顔のフォーカスガイドが黄色になります。）
- 顔が以下の条件のときは検出できない場合があります。
 - ・横や斜めを向いたり、傾いたりしている
 - ・眼鏡や帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている
 - ・画面全体に対して顔が極端に小さい、大きい、暗い
 - ・画面の端に顔がある
 - ・被写体や本機の動きが速い
- 検出に失敗した場合は、オートフォーカスで撮影されます。

